

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立中の島小学校 第3学年 82名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	2020年に開催される東京オリンピックを前にして、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史に関して学ぶとともに、パラリンピックで活躍する人々の思いを聞き日々の生活に生かす。
5 取組内容	○指導計画【5時間扱い】 1時間目 事前指導① オリンピック・パラリンピックについて知っていることを確認する。札幌オリンピックミュージアムで何を見て、何を聞いてくるのかを確認する。「パワーポイントを使用」 2時間目 事前指導② 直前に学んだことをどのように振り返るかを確認。 3、4時間目 現地にて見学学習 ・永瀬選手による講演 ・ミュージアム内の様々な施設で体験 ・リフトで大倉山に登頂し、札幌冬季オリンピックで変わった町並みを見る。 5時間目 事後指導 振り返り ○取組の様子 

	   
6 主な成果	永瀬選手の「失った物を数えるのではなく、残されたものを生かす」という話に子どもは感動して、今後も頑張っていこうという意欲をもった。 各種メダルの形状やスキー板の材質など、昔と今では異なることに子どもは大変驚いた。2020年の東京オリンピック・パラリンピックにもより興味をもつことができた。
7 実践において工夫した点	事前にパラリンピックについては馴染みが浅かったので学校に配付された資料や作成したパワーポイントで簡単に事前指導を行った。
8 主な課題等	子どもにとって非常に興味深い施設が多いので、もう少し時間を取れると良い。
9 今後の取組について	2020年の最大行事である東京オリンピック・パラリンピックをより多角的・多面的に捉えて楽しむために、今後も情報メディアなどを活用しながら折に触れて子どもに様々な体験をさせていく。